

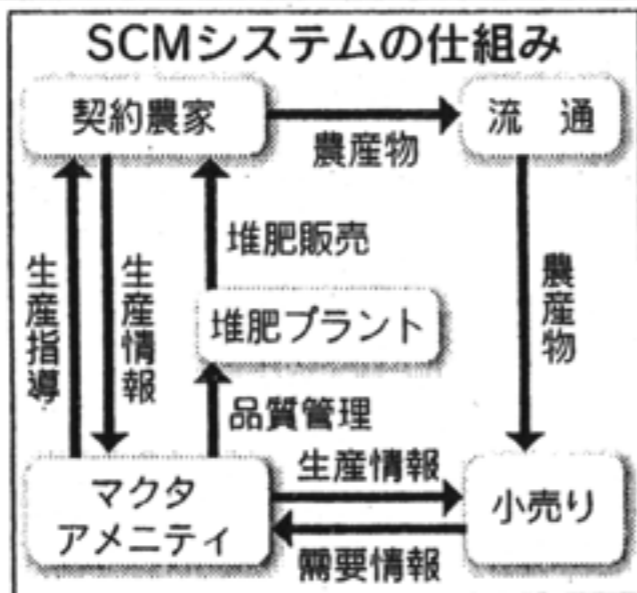
# 有機農産物

## 計画生産し旅館に供給

農業ベンチャーのマクタアメニティ(福島県伊達市、幕田武広社長)は福島市の土湯温泉旅館組合と提携して、有機農産物を計画的に生産し、旅館に安定供給する仕組みを整える。今夏から福島県産の野菜を二十軒程度の旅館に供給する。需要に基づいた生産管理で農家の経営効率を高める。



県内の農家と提携して質の高い地場食材を供給する



### マクタ、土湯温泉組合と提携 流通合理化で価格安定

マクタ社は肥料や農薬の使用基準に従って栽培した農産物を契約農家から調達し「EMオーガ」のブランドで販売している。契約農家は福島市や二本松市を中心に約六十軒ある。

土湯温泉への安定供給は、農産物を必要な量だけ供給するサプライチェーン・マネジメント(SCM)の考えを取り入れ構築する。旅館の注文を受け、最適な栽培時期や必要な生産量を予測し、契約農家に情報を提供。作付けの日程調整や生産を指導。売り上げの数をロイヤルティとして

受け取る。

土湯温泉旅館組合は二〇〇六年度、高脂血症などに効果のある料理と温泉療法を組み合わせた「土湯セラピー」を始め、地場の有機食材を使った創作料理で独自性を打ち出し、健康志向の強い客に訴える。

SCMは生産から販売までネットワークを構築し、原材料調達や在庫、生産、流通などを一括管理して流通合理化を図る経営手法。契約農家は供給先を確保することで大量販売による価格競争を避けられ、安定した価格

の維持と経営効率化が図れる。マクタ社も徹底した品質管理でブランドイメージを高められる。

マクタ社は有機農産物の流通システムを福島大学などと開発、システムの運営・管理や統計データ、市場調査などを手がける。二〇〇五年八月期売上高は一億五千万円。

今後は病院給食や地場スミヤクハウの外販も検討する。